

カネソウ E X ジョイント 建物用 S X・A X シリーズ

エキスパンションジョイント 施工要領書・取扱説明書

対象製品：

床用EXジョイント

SX56A/SX56AGP/SX56AZ-50F・100F・50G・100G・150G・200G

SX56GP/SX56Z-300G

AX56A-50G・100G・150G・200G

SX66/SX66GP/SX66Z-50F・100F・50G・100G・150G・200G

SX66GP/SX66Z-300G

AX66-50G・100G・150G・200G

施工およびご使用される前に必ず最後までお読みください

この度は、カネソウ建物用 E X ジョイントをご使用いただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、必ずこの「施工要領書・取扱説明書」をご一読いただきますようお願いいたします。

間違った施工・取扱を行いますと、製品のガタツキや損傷、事故につながる可能性がありますのでご注意ください。

なお、施工終了後は本書をご使用される方へ、必ずお渡しいただくようお願いいたします。

本書は、いつでも見られる場所に必ず保管していただくようお願いいたします。

カネソウ株式会社

〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地

TEL (059) 377-3232 FAX (059) 377-3905

東京支店

TEL (03) 3433-6645

大阪営業所

TEL (06) 7639-5870

仙台営業所

TEL (022) 214-8088

福岡営業所

TEL (092) 432-2532

URL: <https://www.kaneso.co.jp/> E-mail: info@kaneso.co.jp

この内容は2018年12月現在のものです。仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

EXジョイントを安全にご使用いただくためのお願い

本製品は正しく取り扱うことで、安全にご使用いただけます。
製品の誤った場所での使用、誤った取り扱い、破損したままの製品を継続して使用することによる、事故の未然防止のため、下記の注意事項をお守りいただくよう、お願いいたします。

設計上の注意事項

設計条件を超える荷重がかかる場所では使用しないでください。

床用のエキスパンションジョイントには設計荷重があります。適用荷重を超える荷重がかかると、破損や変形を招き、事故を引き起こす恐れがあります。

設計前に必ず使用場所の確認をしてください。

設計前に必ず使用場所の確認をしてください。エキスパンションジョイントは製品によってサイズ・形状・仕様が大きく異なります。設計前に必ず使用場所の確認をしたうえで、製品の選定をしてください。本施工要領書・取扱説明書に掲載されている製品の使用場所以外には使用しないでください。

施工上の注意事項

加工をしないでください。

切断、穴あけ、切削、変形などの加工を施さないでください。製品強度の低下や、錆の発生原因となり、事故を引き起こす恐れがあります。

外部からの強い衝撃を与えないでください。

搬入時などエキスパンションジョイントに、衝撃や荷重をかけないでください。破損や変形する恐れがあります。

取扱・維持管理上の注意事項

維持管理上の注意について

カバーが破損したり紛失した場合は、速やかに取り替えまたは補充をしてください。取り替えまたは補充をしないと、転倒事故などによりケガおよび骨折の恐れがあります。特に地震など大きな変位があった後は、製品の破損状況やカバーなどが所定の位置に戻っているか、ガタツキ等がないかを確認し、安全な状況を確認してから通行してください。

すき間に指を入れないでください。

カバーとカバーのすき間や、カバーと受枠のすき間などに指を入れると、指詰めなどのケガをする恐れがあります。すき間に指を入れないでください。

持ち運び及び輸送には、充分ご注意ください。

重量の重い部材があります。腰などを痛めたり、足の上に落とすとケガの恐れがあります。

取り付け・取り外しは専門業者に依頼してください。

エキスパンションジョイントの施工および取り扱いについては、製品の機能を維持するため、また、施工・取り付け不良による破損や変形、不具合を防止するためにも施工要領書・取扱説明書記載の手順を厳守してください。清掃や交換などのメンテナンスが必要な場合は、専門業者に依頼してください。取付方法を誤ると、破損や変形、ガタツキを招き、事故を引き起こす恐れがあります。取り付け・清掃・交換・点検などの際は必ず作業用手袋を着用してください。

ステンレス製品について

ステンレスは、絶対に錆びない金属ではありません。ステンレス製品を美しく保つには、設計、施工上の配慮に加えて、適切な清掃と手入れが必要です。清掃にあたっては、状況に応じた適切な方法を選んでください。また、ステンレス製品のうち、SUS304を使用している製品におきましては、通常、磁性を有しませんが、生産工程における曲げ加工や溶接などにより、加工部分の金属組織が変わり、磁性を持つようになる場合がありますので、ご了承ください。

破損、変形、ガタツキが発生したエキスパンションジョイントは使用しないでください。

何らかの原因で、破損や変形あるいはガタツキが発生しているエキスパンションジョイントは、強度が著しく低下しており、事故を引き起こす恐れがあります。適正な製品に交換してください。

タイル等を清掃する場合の注意事項

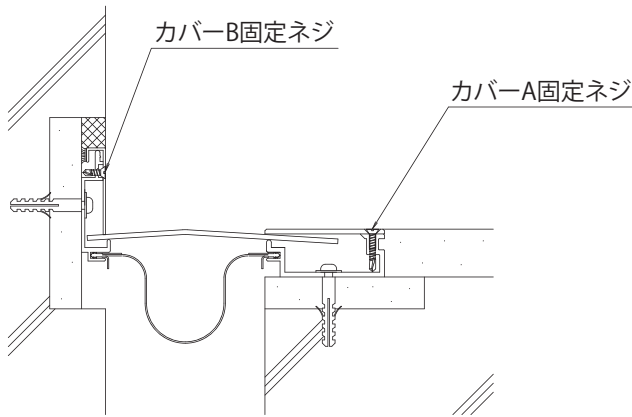
タイル等を酸系統(次亜塩素酸ソーダなど)の洗浄液で清掃する場合、金属製品(ステンレス・アルミニウム・鋳鉄・スチールの塗装品および亜鉛めっき品)の錆の発生を防ぐため、金属製品に確実に養生を行うか、清掃後水洗いを十分行ってください。

油などが付着した場合、すみやかに取り除いてください。

油などの滑りやすいものがエキスパンションジョイントの表面に付着すると、車両のスリップや歩行者の転倒などの事故を引き起こす恐れがあります。すみやかに清掃を行い、油などを取り除いてください。

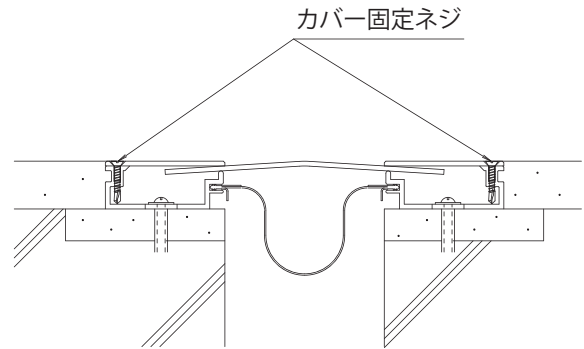
カバー固定ネジの使用箇所・種類

床用EXジョイントのカバー固定ネジは製品・サイズにより異なります。
固定ネジの使用箇所・種類については下図をご参照ください。



SX56A/SX56AGP/SX56AZ
-50F・100F・50G・100G・150・200G

SX56GP/SX56Z-300G
AX56A-50G・100G・150G・200G



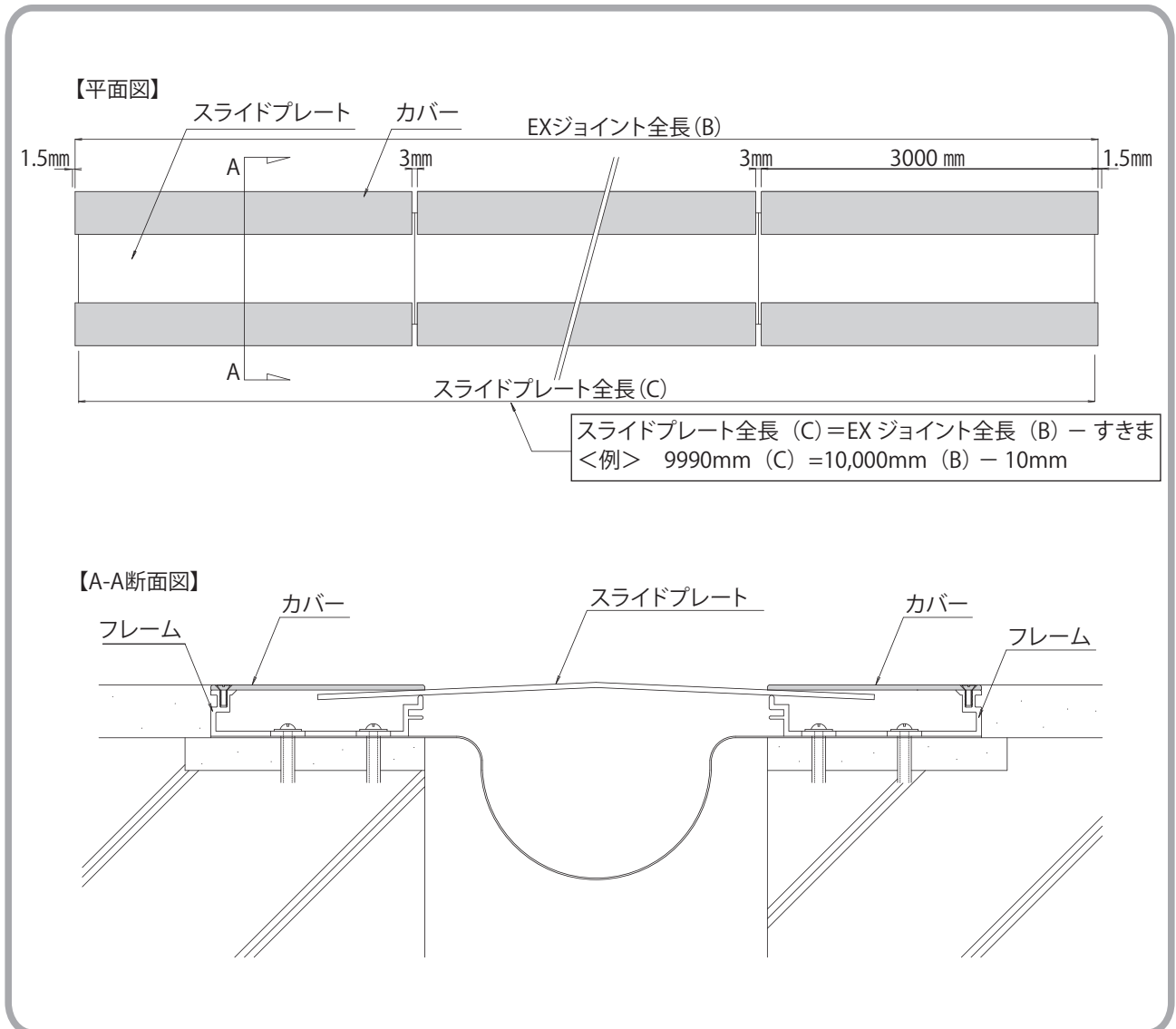
SX66/SX66GP/SX66Z
-50F・100F・50G・100G・150G・200G

SX66GP/SX66Z-300G
AX66-50G・100G・150G・200G

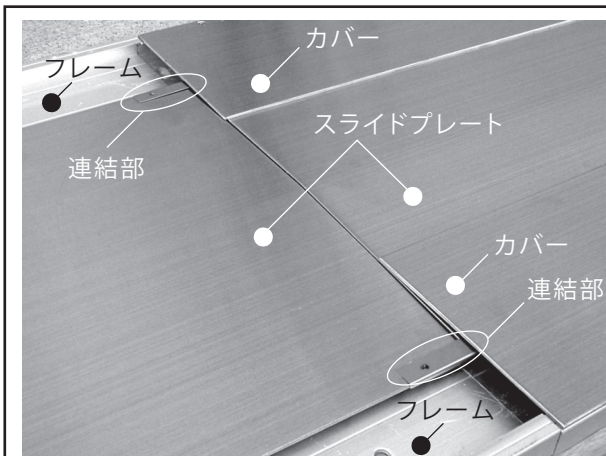
製 品 名	カバーA固定ネジ	カバーB固定ネジ	カバー
SX66/SX66GP/SX66Z -50F・100F・50G・100G・150G・200G	—	—	SUS 皿ドリルネジ 呼び4×25
SX66GP/SX66Z-300G	—	—	SUS 皿ドリルネジ 呼び4×16
SX56A/SX56GP/SX56Z -50F・100F・50G・100G・150G・200G	SUS 皿ドリルネジ 呼び4×25	SUS 皿タッピンネジ M4×12 C1	—
SX56GP/SX56Z-300G	SUS 皿ドリルネジ 呼び4×16	SUS 皿ドリルネジ 呼び4×16	—
AX66-50G・100G・150G・200G	—	—	SUS 皿ドリルネジ 呼び4×25
AX56A-50G・100G・150G・200G	SUS 皿ドリルネジ 呼び4×25	—	—

床用EXジョイントの取り付け上の注意点

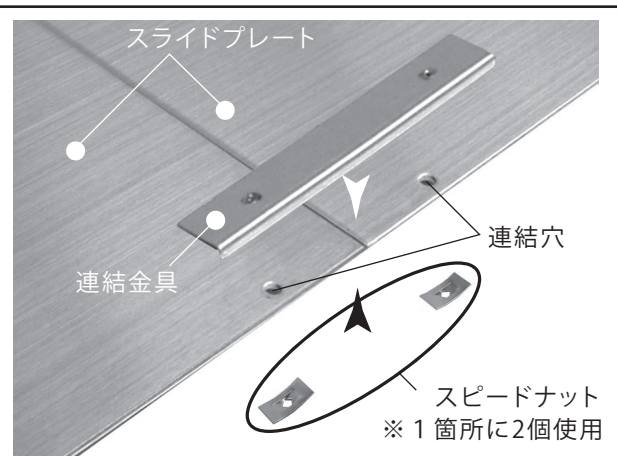
- 床用EXジョイントSX56、SX56A、AX56A、SX66、AX66を温度差が大きくなるような場所に取り付ける場合、カバーとカバーの間、およびカバー両端部にすきまを設けてください。すきまを設けないと温度上昇に伴いカバー、スライドプレートが膨張し、変形したり外れてしまう恐れがあります。
- すきまはカバーの長さ3000mmに対し3mm確保してください。
- スライドプレートのすきまについては、EXジョイント1mに対し1mmのすきまを設けてください。
- EXジョイント全長(B)が10mの場合、10mmをEXジョイント全長(B)からひいた寸法がスライドプレート全長(C)となります。
- エンドカバー(オプション)を取り付けた場合は、先に算出した寸法からさらに20mmひいた寸法をスライドプレート全長(C)としてください。



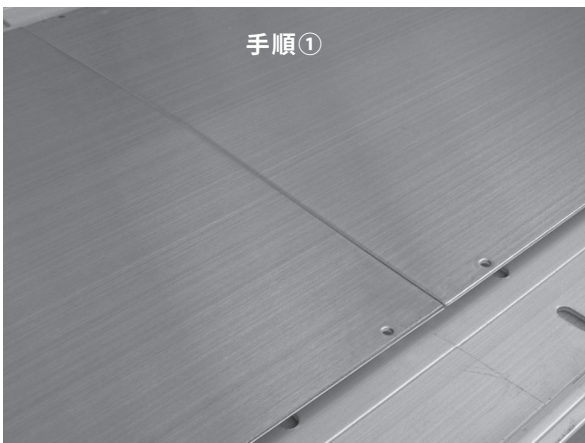
スライドプレート連結金具の取付方法（ステンレス製 SX66、SX56、SX56Aのみ）



連結金具を利用して隣接するスライドプレートを連結する手順を説明します。
 ※上の写真は連結金具取り付け後の写真です。実際はカバーを付ける前の作業となります。

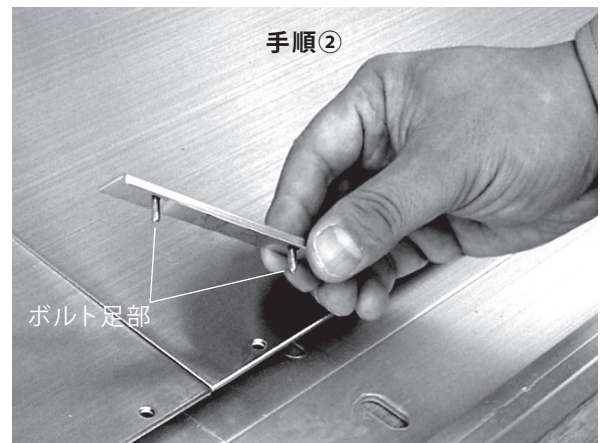


スライドプレートの上側から連結金具のボルト足部を差し込みます。下側からはスピードナットを連結金具のボルト足部に差し込み固定します。



手順①

フレームの上にスライドプレートの端部を合わせて設置します。



手順②

ボルト足部

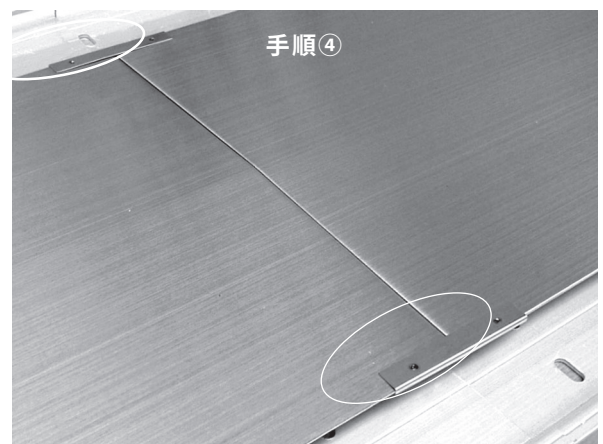
スライドプレート上側から連結金具のボルト足部を連結穴に差し込みます。その際は連結金具の曲げを外側に設置してください。



手順③

スピードナットの上下について
 上側(スライドプレート側)
 下側(フレーム側)

スライドプレート下側に出ている連結金具のボルト足部にスピードナットをノック音がなくなるまで指で差し込み固定してください。スピードナットは連結金具1個につき2箇所固定してください。

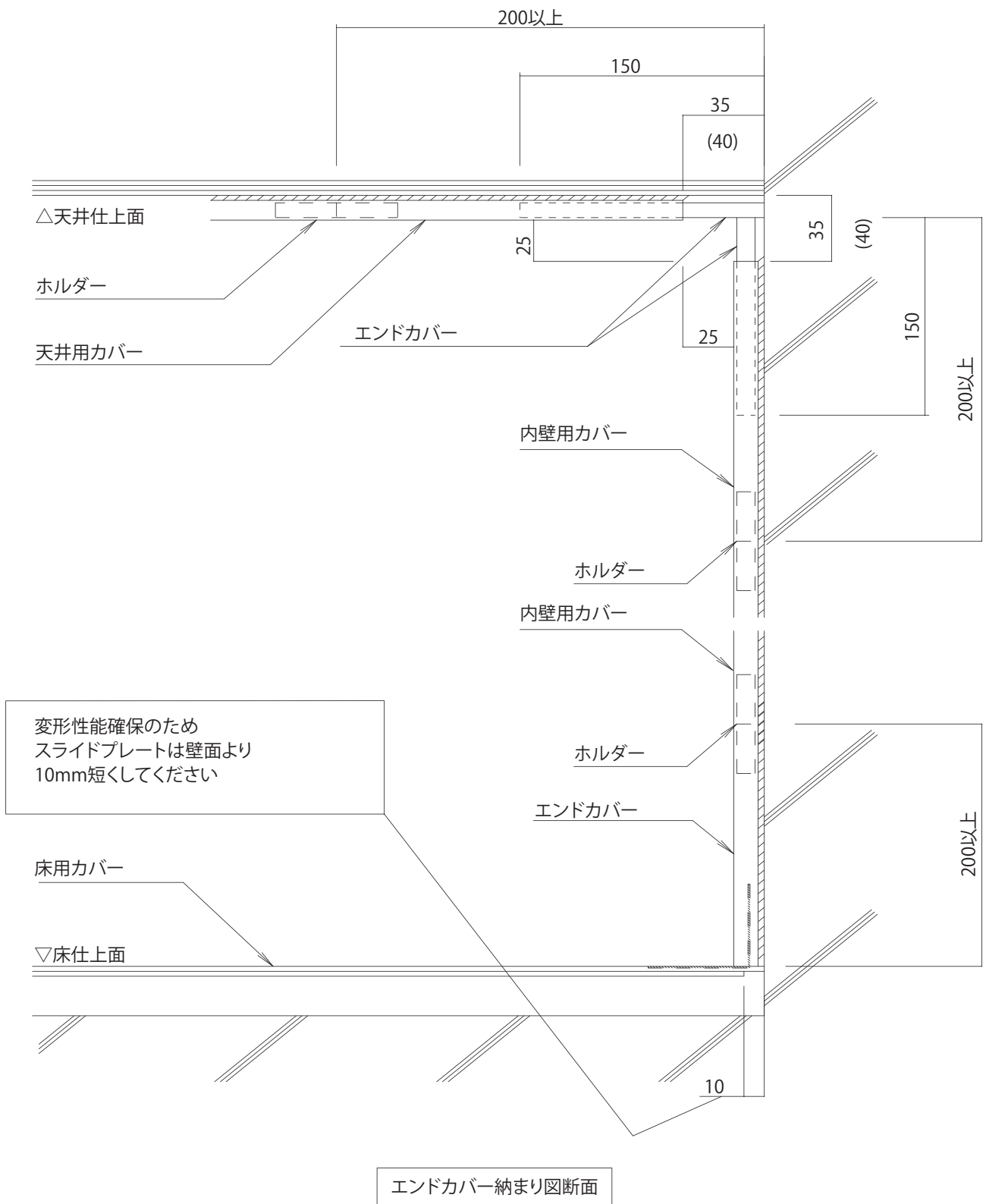


手順④

完了です。この後にカバーを設置してください。
 ※SX66タイプ(上写真)は連結1箇所につき左右2個、SX56(A)タイプは1個(壁側は不要)の作業となります。

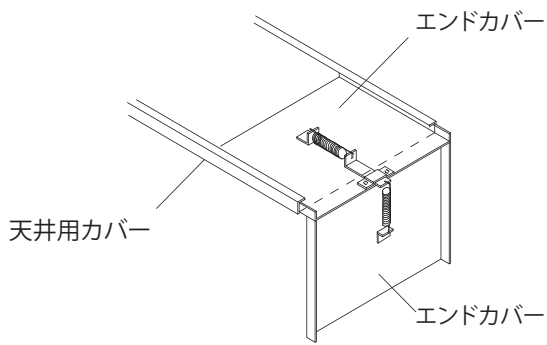
スライドプレート間に、ズレやすきまが発生する可能性があります。
 付属の金具にて必ず連結していただくようお願いいたします。

エンドカバーの取付方法

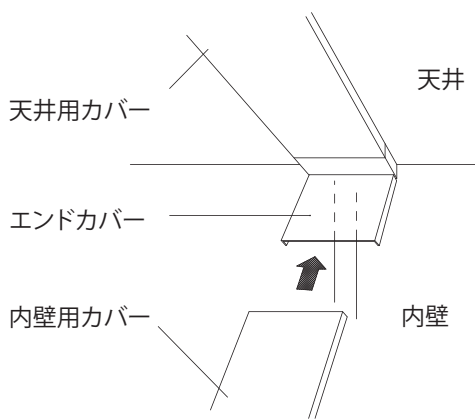


()内寸法は200G,300G用寸法を示します。

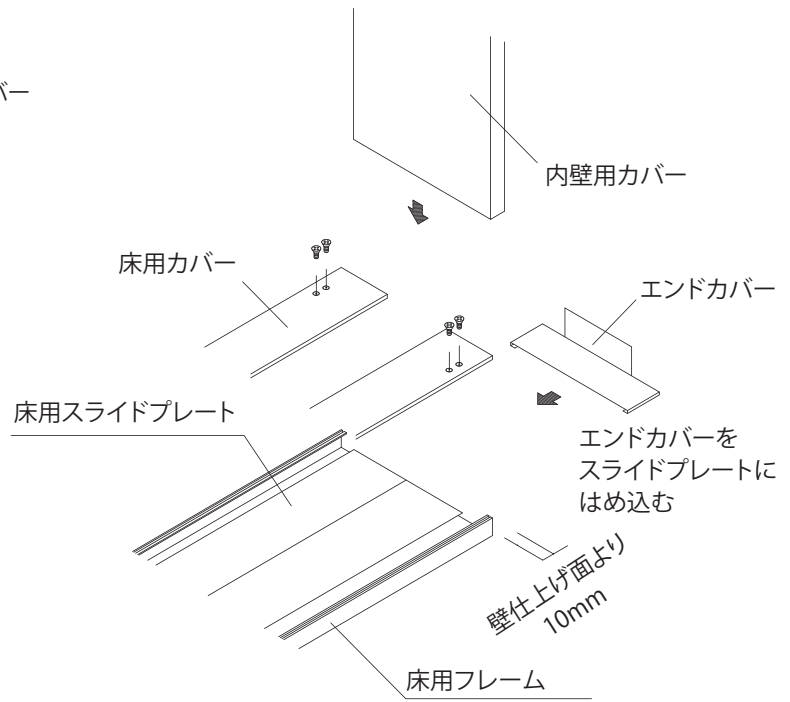
エンドカバーの取付方法



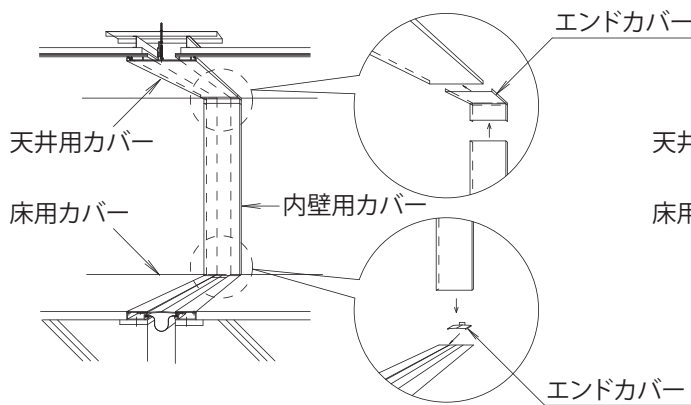
図A



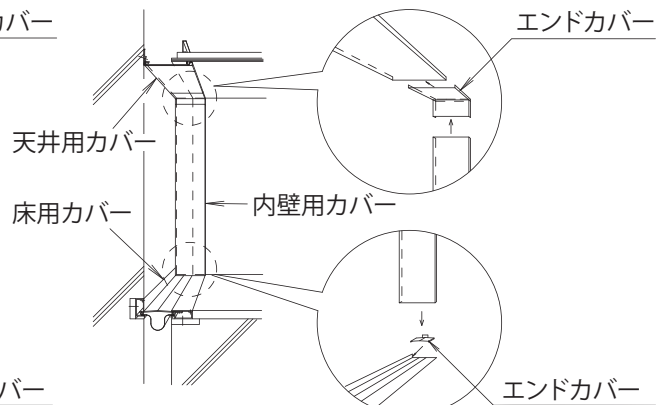
図B



参考図



平一平タイプ納まり図



コーナータイプ納まり図

エンドカバーを差し込んだままの状態天井用カバーをホルダーにかみあわせませす(図A)。

内壁用エンドカバーは垂らしたままにしてください。

カバーを矢印のように差し込み、天井同様ホルダーにかみあわせませす(図B)。

天井用、うち壁用ホルダーは左ページの「エンドカバー納まり図」のように仕上面より200mm以上はなしてエンドカバーに干渉しないようにしてください。